

ファミサポ通信

10

発行:女子医大ファミリーサポート室 〒162-8666 新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学

TEL. 03-5369-9075 FAX03-5369-9081 委託: NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

3月20日発行

2014

女子医大ファミリーサポート 次年度の運営について

●女子医大ファミリーサポート 室長 野原理子

早春の息吹を感じる季節となりました。

皆様には日頃より女子医大ファミリーサポート活動にご協力いただき、大変感謝いたしております。

女子医大ファミリーサポートは2009年度より、文部科学省大学病院人材養成機能強化事業(周産期医療に関わる専門的スタッフの養成)「男女共同参画型 NICU 人材養成プログラム— 地域とささえあう周産期医療—」事業の一環として整備され、順調に運営されてきました。本事業は本年度末をもって終了することとなりますが、女子医大ファミリーサポートは非常に有効な育児支援として学内外で高く評価されていること



▲全体交流会に来てくださった女性医師・研究者支援センター長の齋藤加代子先生(中央)と提供会員の皆さん。



▲2013年10月26日(土)に女子医大祭と同時に開催された全体交流会の展示会場にお越しくださった、吉岡理事長と笠貫学長。右端が野原室長。佐藤記念館3階302号室。

から、次年度以降も運営を継続できることとなりました。ここによりご報告ができ、大変嬉しく皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

次年度以降の女子医大ファミリーサポートはさらに発展し、東京医科大学と連携し「東京医大女性研究者支援事業女子医大ファミリーサポート連携プログラム」として、同じ新宿区内にある東京医科大学で働く女性研究者の方々が女子医大ファミリーサポートを利用できるようにいたしました。広がりみせる女子医大ファミリーサポートですが、運営はこれまで同様、NPO法人子育てネットワーク・ピッコロに業務委託させていただくことになりましたので、引き続き安全で安心な活動ができるものと確信しております。

これからも皆様と共に楽しい活動ができたらと思っております。

お知らせ

2014年4月4日(金)に
ファミリーサポート室が移転します。

4月4日(金)にすぐ隣の新棟、女性生涯教育支援センターの1階に引越します。直通電話・FAX 番号と住所表記は変わりません。内線番号のみ 68152 に変わります。
お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

▼新しいファミリーサポート室
(女性生涯教育支援センター1階)



今までのファミサポ室



第7期生・提供会員誕生

保育サービス講習会(全30時間、7日間)

10/30、11/1、8、11、13、18、20



第7期保育サービス講習会には17名が参加。14名の方が修了し、提供会員に登録しました。

▼劇団風の子東京の大森靖枝さんの『子どものあそび』の講義。紙で作った笛のおもちゃで、みんなで一緒に演奏会!!



▲11科目、オリエンテーション・修了式まで7日間の講習を最後まで熱心に受講し、修了した7期生提供会員の皆さん。



▲『心の発達とその問題』の湯汲英史先生は、現代の子育て事情について幅広い視点から講義をされます。

▶野原理子先生『病児保育とリスクマネジメント』の講義。隣の人と話し合ったり、グループワークがあったりと、講義は和気あいあいと進みました。



▲普通救命講習。牛込消防署にて、乳幼児の心肺蘇生について学び実習をします。

スキルアップ研修会

2013年12月11日(水) 13:30~16:30 講師:小俣みどり

東京女子医科大学健保会館大会議室 参加会員:23名

毎年2回行われるスキルアップ研修会。グループディスカッションは、色々な意見を聴き、みんながそれぞれに気付くよい機会となっています。今回は、①保育中に実際にあったヒヤリハット事例検討と②危険予知トレーニングを行いました。

危険予知トレーニングでは保育園送迎中のイラストを見て、どんな事故がひそんでいるか、危険のポイントはどこか、その危険に対して具体的な対策を考え、行動目標を決めました。定期的に学ぶことで、安全な保育が実践できると、提供会員さんは真剣に取り組んでいました。



黄色の紙には私ならどう行動するか、水色の紙には考えられる原因について、ピンクの紙には予防策をそれぞれ書いて、見せ合い話し合い、最後はまとめて発表しました。



全体交流会

2013年10月26日(土)11:00~16:30
会場:佐藤記念館3階302号室

▲学生サポーター、学祭実行委員長も参加して。



▲スライム作り。子供はもちろん大人も楽しみました。

▲参加して下さった提供会員さんありがとうございました。

全体交流会は、女子医大祭に出席するという形で開催しました。提供会員さんが風船アートや折り紙など手作りおもちゃを教えてくれ、スライム作りや活動の様子を写真で展示しました。学生・一般も合わせて102名の入場者がありました。

全体研修会

一般公開講座 [講演会] 2014年1月25日(土)14:00~16:00
会場:東京女子医科大学病院 総合外来センター5階 大会議室

“食べもの神話”の落とし穴 食と健康—氾濫する情報を正しく読み取る

講師 ● 高橋久仁子氏 (群馬大学教育学部教授)

たかにはしくにこ:「食情報とフードファディズム」「食とジェンダー」が主な研究テーマ。
著書に『食べもの情報』ウソ・ホント—氾濫する情報を正しく読みとる』『フードファディズム—メディアに惑わされない食生活』『食と健康 Q&A』他



大会議室は食と健康に興味のある方たちでいっぱいになりました。いろいろな質問があり、高橋先生の明らかな応答で、会場は納得の表情でした。

全体研修会として一般公開講座 [講演会]を開催しました。この日は午後1時より、東京女子医科大学男女共同参画型 NICU 人材プログラム—地域とささえ合う周産期医療事業の最終報告会があり、急遽その第2部特別講演という形で開催されました。

高橋先生は、「健康食品」で健康は買えない。適切に食べていれば、そこそこの健康が得られる。普通の食事とは…を具体的にわかりやすくお話しくださいました。健康と食に対する関心が高く、一般の方も多数参加され、とても楽しく痛快で、勉強になったとたくさんのアンケートが寄せられ、好評でした。

- 参加者:合計86名
- ・一般 46名
- ・提供会員 24名
- ・依頼会員 2名
- ・大学職員 10名
- ・講師スタッフ 4名

▶「普通の食事」はかなり質素。必要な栄養素を過不足なく摂取できる日常的な食事例。



1日分の食材と食事例

1800kcalで

群馬大学教育学部家政教育講座 教授:高橋久仁子

不足する人:ご飯、砂糖、油を増やす。嗜好的食品プラスでも。
多すぎる人:ご飯、砂糖、油を減らす。乳製品を低脂肪、肉を赤身に、等。



この食品構成で
1800kcal、タンパク質60.5g、脂質47.6g、
Ca 668mg、食物繊維17.2g

活動の推移

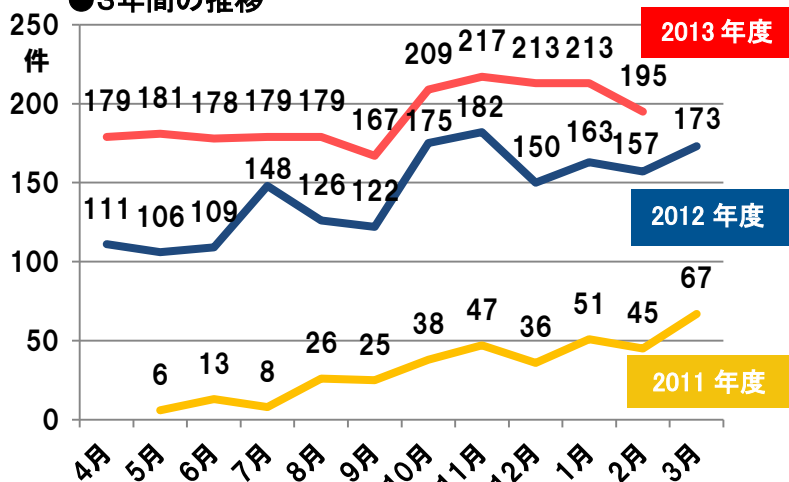
2010年度よりファミリーサポート事業の準備を開始し、同年10月にファミリーサポート室開室。

11年度より一時預かり保育の援助活動を開始。12年度より病児・病後児保育も始まりまし。 (件)

2013年度 月別活動内容(件数が多い順)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
1 保育園・幼稚園の迎え	68	73	70	79	77	58	86	64	57	52	50	734
2 保育園・幼稚園の迎えと帰宅後の預かり	23	24	18	23	17	19	32	32	31	30	27	276
3 保育園・幼稚園の送り	18	37	21	19	20	20	21	24	23	21	23	247
4 保育園・幼稚園の登園前の預かりと送り	25	1	23	21	27	20	26	22	25	27	21	238
5 登校前の預かりと送り	7	15	14	8	4	12	16	15	14	17	14	136
6 保育園等の入所前の預かり							4	18	26	37	28	113
7 子どもの習い事・塾等の送迎	5	8	7	5	15	7	4	4	4	6	8	73
8 保育園・学校等のお休み時の預かり	11	4	3	8	9	8	4	8	3	2	3	63
9 他の子どもの学校行事・通院時の預かり	3	2	3	4	1	9	5	7	4	10	4	52
10 保護者の外出時(冠婚葬祭・リフレッシュ等)の預かり	6	6	7		3	3	2	7	3		3	40
11 学校から学童保育への送り	9	9	6	6		6		1	2			39
12 保護者の臨時的就労の場合の預かり	1	1		2	3			2	10	4	7	30
13 病児・病後児保育				1	1		3	9	8		4	26
14 保護者の学会・研修会参加時の預かり	1		3	3	2	4	3	2	1	3		22
15 下校後の預かり	2	1	3			1	1		2	1	3	14
16 保護者の病気時の預かり								1		3		4
17 学童保育の迎え								1				1
18 その他(入院時の見守り)							2					2
合計	179	181	178	179	179	167	209	217	213	213	195	2110

※件数は支援された子供の延べ数です。兄弟一緒に保育した場合は2件と数えます。

●3年間の推移



▼2011年5月～14年2月末、実際に活動したのは…

- 依頼会員 94名のうち、実際に利用したのは、58名。
- 提供会員 125名のうち、実際に活動したのは、48名。
- 学生サポーター11名のうち、実際に活動したのは、3名。

	利用した 依頼会員	活動した 提供会員	活動件数	事前打合 せ件数
2011年度	16人	18人	362件	35件
2012年度	32人	27人	1722件	38件
2013年度 (2月末日現在)	44人	40人	2110件	46件
4月	19人	19人	179件	5件
5月	17人	16人	181件	3件
6月	18人	17人	178件	1件
7月	18人	16人	179件	5件
8月	19人	18人	179件	4件
9月	21人	20人	167件	4件
10月	23人	20人	209件	9件
11月	22人	19人	217件	3件
12月	23人	23人	213件	4件
2014年1月	29人	25人	213件	6件
2月	24人	23人	195件	2件

【編集後記】●2010年にファミリーサポート事業を立ち上げて4年。11年より援助活動を開始し、ファミサポ通信は10号を数えました。ようやく軌道に乗ってきた感があります。ご支援ご協力誠にありがとうございました。●依頼会員からは「本当に助かっています」「とても熱心にみてくださる良い方とお会いできて安心して働けます」「子供たちが良くなつて、良くしてもらっています」などの感謝の言葉をいただいています。●提供会員は「私の生きがい」「依頼会員さんは仕事も子育ても本当によくやっていて感心します」「もうかわいくてかわいくて」とイキイキと話されます。●学生サポーターからは「安心していただけるよう楽しい時間を提供したい」「お役に立てて嬉しい」と頼もしいメッセージが寄せられました。●ファミサポは皆さんの愛と力に支えられています。これからも安全で安心なサポートを心がけ、毎日を大切にしていきたいと思ひます。(村田)



会員合計	230名
依頼会員	94名
提供会員	125名
学生サポーター	11名

2014年2月末日現在

女子医大ファミリーサポート室

●開室時間 月～金曜日 9:00～17:00 直通 tel : 03-5369-9075 fax : 03-5369-9081

162-8666 新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学内 03-3353-8112(内線 39911) ※4月より内線68152に変更
family-support.bm@twmu.ac.jp http://www.twmu.ac.jp/NICU-support/